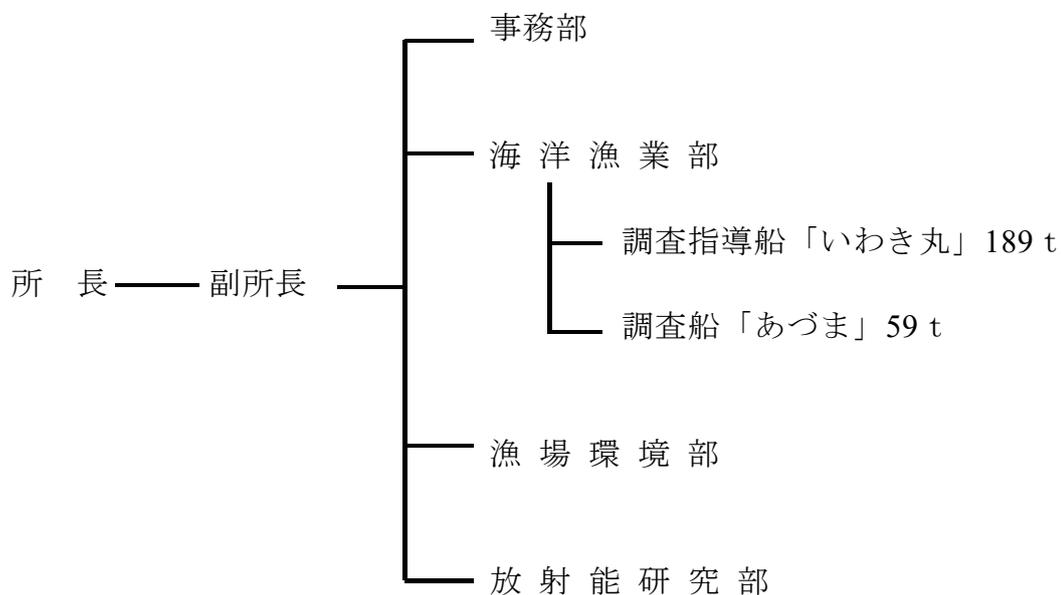


I 庶務一般

1 組織・機構

水産海洋研究センター (R3.3.31)



所在地等 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下13番地の2
電話 0246-54-3151～3 F A X 0246-54-9099
E-mail kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

2 令和2年度事業別予算(千円)

款	総務費	1,094
項	総務管理費	1,094
目	一般管理費	145
	人事管理費	949
款	衛生費	4,171
項	環境保全費	4,171
目	原子力安全対策費	4,171
款	農林水産業費	277,144
項	農業費	8,547
目	農業総務費	8,547

項	水産業費	268,598
目	水産業総務費	44
目	水産業振興費	4,301
目	漁業調整費	11,667
目	水産海洋研究センター費	160,581
目	漁業調査指導費	92,005
款	商工費	23
項	商工業費	23
目	工業振興費	23
合	計	282,432

Ⅱ 令和2年度の刊行物

令和元年度事業概要報告書（水産海洋研究センターホームページに掲載）

Ⅲ 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和3年1月16～17日

開催場所 水産海洋研究センターセミナールーム

開催経過 令和2年度の「普及に移しうる成果」5課題、「放射性関連課題成果」5課題、「参考となる成果」3課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成果課題名	区分	担当者
・福島県沖のアカムツの資源状況と生態	普及成果	安倍裕喜ほか
・決定木を用いたシラス漁況予測	普及成果	金子直道
・近年の不漁時におけるイカナゴの栄養状態	普及成果	森下大悟ほか
・操業支援情報を発信する「ふくしま Marine System」の開設	普及成果	坂本 啓
・肥満度及びグリコーゲン含量によるホッキガイの旬推定	普及成果	森下 大悟
・海産魚介類の採取水深と ¹³⁷ Cs濃度の低下傾向	放射性成果	鈴木翔太郎ほか
・2018年に採集されたマダラの ¹³⁷ Cs濃度でみられるサイズ効果の要因	放射性成果	天野洋典ほか
・飼料の組成から影響を受ける魚体の ¹³⁷ Cs濃度と窒素安定同位体比の変化	放射性成果	榎本昌宏ほか
・海底土の ¹³⁷ Cs濃度の推移と大規模降雨との関係	放射性成果	鈴木翔太郎ほか

<ul style="list-style-type: none"> ・1F沖の海底土¹³⁷Cs濃度の局所的な分布 ・調査船調査による福島県沖のツブ類の資源状況 ・調査船データによる主要底魚類の新規加入状況評価 ・デジタル操業日誌の開発 	放射性成果 参考成果 参考成果 参考成果	鈴木翔太郎ほか 安倍裕喜ほか 岩崎高資ほか 坂本啓
---	-------------------------------	------------------------------------

(2) 水産海洋研究センター研究成果報告会

新型コロナウイルス感染症対策のため未開催

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

※H29年度：10、H30年度：4、R1年度：1

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
令和2年度東北ブロック水産海洋連絡会	福島県海域における主要魚種の動向について	原聡太郎	R2. 11. 18	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 塩釜庁舎 会議室
Fukushima Dai-ichi and the Ocean: 10 years of study and insight	Fisheries and the monitoring and inspection in Fukushima during 9 years	Shotaro Suzuki・Masahiro Enomoto・Yosuke Amao・Kyoichi Kamiyama	R3. 3. 4	オンライン
放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点 2020年度年次報告会	底魚類における海底土が及ぼす放射性物質移行に関する研究	鈴木翔太郎 ・天野洋典 ・榎本昌宏 ・神山享一 ・帰山秀樹 ・高田兵衛 ・和田敏裕	R3. 3. 15	オンライン
福島大学環境放射能研究所第7回成果報告会	福島県沿岸海域における海底土の ¹³⁷ Cs濃度と大規模降雨との関係	鈴木翔太郎 ・榎本昌宏 ・天野洋典 ・守岡良晃 ・神山享一	R3. 3. 18	オンライン
令和3年度日本水産学会春季大会	福島県における解散魚介類の採取水深と ¹³⁷ Cs濃度の低下傾向	鈴木翔太郎 ・天野洋典 ・守岡良晃 ・神山享一	R3. 3. 27	オンライン

(2) 投稿論文

※H29年度：6、H30年度：1、R1年度：1

投稿先	論文課題名	投稿者	印刷月
Environmental Science & Technology	Suspended Particle-Water Interactions Increase Dissolved ¹³⁷ Cs Activities in the Nearshore Seawater during Typhoon Hagibis	Hyo Takata・Tatsuo Aono・Michio Aoyama・Mutsuo Inoue・Hideki Kaeriyama・Shotaro Suzuki・Tadahiko Tsuruta・Toshihiro Wada・Yoshifumi Wakiyama	R2.8
東北底魚研究第40号	福島県沿岸域における底魚類の放射性セシウム濃度の低下傾向	天野洋典・鈴木翔太郎	R2.12
東北底魚研究第40号	福島県の試験操業におけるヒラメの漁獲状況	安倍裕喜	R2.12
東北底魚研究第40号	福島県沖水深100m地点における魚介類の多様性と群集組成の変化	鈴木翔太郎・坂本啓・安倍裕喜	R2.12
International Journal of Disaster Risk Reduction	Inherent resilience, major marine environmental change and revitalization of coastal communities in Soma, Fukushima Prefecture, Japan.	Laslie Mabon・Midori Kawabe・Yi-Chen Huang Leon Moller・Junzheng Gu・Daigo Wakamori・Kaoru Narita・Takayuki Ito・Akira Matsumoto・Kouji Niizeki・Shotaro Suzuki・Masato Watanabe	R2.12
水産海洋研究	耳石の元素・同位体比を自然指標として用いたまぐろ類の回遊生態研究(総説)	天野洋典・横内一樹・石村豊穂・白井厚太郎	R3.2
JATAFFジャーナル Vol.9 No.2	ICTを活用した福島県沿岸漁業の操業効率化と資源管理の推進	坂本啓	R3.2

3 漁業者等研修会の実施状況

※H29年度：18、H30年度：2、R1年度：1

年月日	研修・会議等の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R2.6.23	青年漁業士講座	海産魚介類のモニタリング検査と福島県における漁業の現状	漁業士候補 2名	水産資源研究所
R2.11.16	いわき地区試験操業検討委員会底びき網部会	9～10月の漁獲状況と底魚類の資源状況について	底びき網漁業者 30名	いわき市中央公民館

4 県民への研修会等の実施状況

※H29年度：39、H30年度：30、R1年度：32

年月日	研修・会議の名称	研修・会議内容	対象者・人数	備考
R2.8.6	一般社団法人一心会	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」	15名	
R2.8.24	福島県立湯本高校見学	魚介類の安全・安心講座	23名	
R2.9.4	いわき市立錦小学校見学	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」、「水産海洋研究センターとは」	54名	
R2.9.25	いわき市立入遠野小学校見学	公開講座「アワビやサケの年齢を調べよう」	15名	
R2.10.2	公開講座（湯本高校）	福島県の水産業と魚介類の安全性について	19名	
R2.10.7	いわき市立永崎小学校	公開講座「アワビやサケの年齢を調べよう」、「水産海洋研究センターとは」	34名	
R2.10.9	いわき市立藤原小学校	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」、「水産海洋研究センターとは」	19名	
R2.11.10	フードサービス研究会例会	福島県における漁業と海産魚介類の放射線モニタリング検査の現状	19名	東京都中央区築地
R2.11.19	下郷町立江川小学校	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」	12名	
R3.2.6	首都圏等消費者交流事業オンラインツアー	福島県の水産業と魚介類の安全性について	34名	Webでの講演

5 緊急時モニタリング調査関係報告会

※H29年度：40、H30年度：41、R1年度：36

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R2.4.28	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等	書面開催
R2.5.19	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 20名	福島県水産会館
R2.5.28	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 41名	福島県水産会館
R2.6.16	いわき地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館

R2. 6. 29	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 43名	福島県水産会館
R2. 7. 20	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 7. 31	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 43名	福島県水産会館
R2. 8. 18	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 8. 27	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 44名	福島県水産会館
R2. 9. 18	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 9. 29	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 41名	福島県水産会館
R2. 10. 20	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 10. 23	福島県地域漁業 復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 42名	福島県水産会館
R2. 10. 28	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 11. 17	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 11. 30	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 45名	福島県水産会館
R2. 12. 8	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R2. 12. 22	福島県地域漁業 復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 38名	福島県水産会館
R2. 12. 25	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 44名	福島県水産会館
R3. 1. 19	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R3. 1. 29	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等	書面開催
R3. 2. 16	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R3. 2. 24	福島県地域漁業 復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 43名	福島県水産会館

R3. 2. 26	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 48名	福島県水産会館
R3. 3. 22	いわき地区試験 操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 40名	福島県水産会館
R3. 3. 24	福島県地域漁業 復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 45名	福島県水産会館
R3. 3. 30	福島県漁協組合 長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 48名	福島県水産会館

6 一般公開

(1) 月別見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生					15	69	53	12					149
中学生													0
一般					23								23
合計					38	69	53	12					172

(2) 水産海洋研究センター参観デー（福島県豊かな海づくり大会）開催状況

新型コロナウイルス感染症対策のため未開催

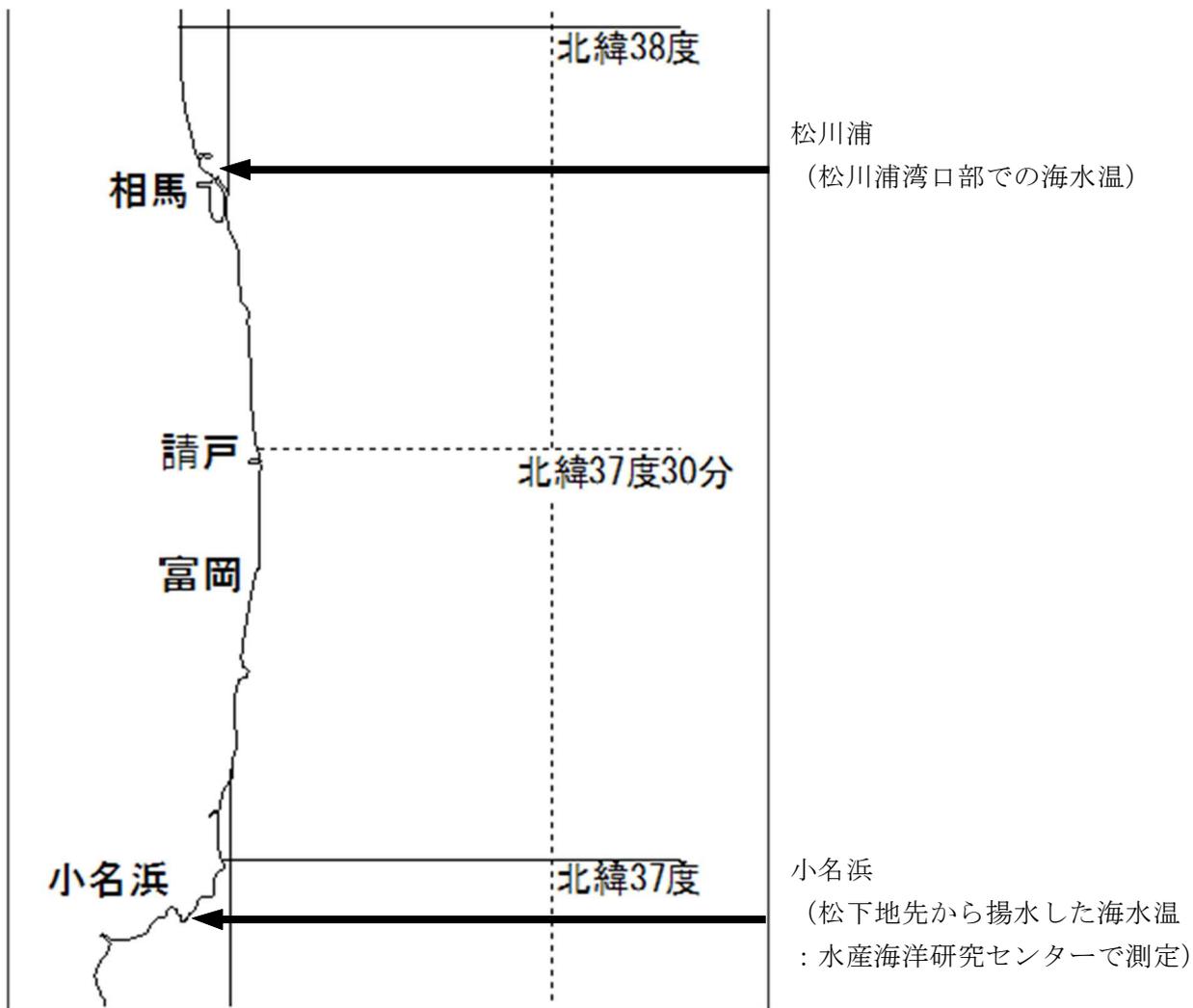
(3) 水産海洋研究センターホームページによる情報公開

下記情報については、過去のデータが pdf 形式で閲覧可能であるとともにダウンロードが可能

ア 漁海況速報：原則、毎週金曜日に発行とホームページ公表

イ 月別水温情報：30 海里、50 海里内の平均水温を毎月 1 回ホームページで公表

ウ 定地水温情報：松川浦（相馬市尾浜）、小名浜（いわき市小名浜）の 2 定地で観測時刻が松川浦 9:00、小名浜 10:00 の測定水温をホームページで公表



IV 職員名簿

所属	職名、氏名	職名、氏名	職名、氏名	
	所長	齋藤 健	副所長	川田 暁
事務部	主幹（兼）事務長	紺野保幸	主査	吉田治久
	主査	佐藤良子		
海洋漁業部	部長（兼務）	川田 暁	主任研究員	岩崎高資
	研究員	坂本 啓	研究員	安倍裕喜
	研究員	原聡太朗	専門員	佐藤美智男
調査指導船 いわき丸	船長	伊藤勝彦	機関長	奥藤 賢
	通信長	鈴木正剛	主査（兼）一等航海士	須賀浩司
	主査（兼）一等航海士	藤健太郎	主査（兼）一等航海士	佐藤笑子
	主査（兼）一等航海士	圓谷 啓	主査（兼）一等機関士	福林 悠
	副主査（兼）二等機関士	佐々木和幸	副主査（兼）二等航海士	重軒崇志
	技師（兼）二等航海士	高木悠剛	技師（兼）二等機関士	鈴木柊祐
	専門員	黒川義彦	主任技能員	新田勝己
漁場環境部	部長	廣瀬 充	研究員	森下大悟
	研究員	金子直道	専門員	藤田恒雄
放射能研究 部	部長	神山享一	主任研究員	榎本昌宏
	副主任研究員	天野洋典	副主任研究員	鈴木翔太郎
	専門員	鈴木章一	専門員	鈴木俊二

令和3年3月31日現在